

令和2年度東京都・北区合同総合防災訓練に展示参加しました

令和2年度東京都・北区合同総合防災訓練が、11月22日(日)午前中に、北区中央公園を中心会場として開催されました。今回の訓練は、「住民等による自助・共助」、「行政及び関係機関の連携」、「コロナ禍における自然災害への対応」を統一テーマとして、当日は「住民による避難訓練」「自助・共助訓練」「展示・体験訓練」などが取り込まれました。

緊急地震速報利用者協議会は、(一財)気象業務支援センターとの共同事業として、北区中央公園周辺会場での展示に参加しました。

今回の訓練は、当初東京オリンピック、パラリンピックの予定もあり、例年の9月1日を避け、11月後半の開催となりました。さらに、コロナ対策から、一般来場者も北区在住の250名に限定し、展示ブースも参加機関を制限してスペースを確保するなど「三密」とならないような工夫をしての開催でした。

11月下旬の開催で、屋外の寒さも懸念されましたが、ほぼ快晴の訓練日和でした。人数制限もあり、展示ブースの来場者は例年より少なく、配布した「緊急地震速報利用の手引き」も100部ほどと例年の1/3ほどでしたが、事前予約制のため防災訓練への関心の高い来場者が多かったと感じました。協力会員の皆さまには丁寧に対応してもらいました。



【写真】晴天のなかでの説明風景

今回の訓練では、当日の参加者全員には「コロナ感染防止のためのチェックリスト」の提出、また、開催日から2週間は経過観察、「陽性」が確認された場合には報告を義務付けるなど、徹底した感染防止対策が取られています。「新たな生活様式」の中での、訓練、イベントの良い先例となることを期待しています。

今回、コロナ禍の中ご協力いただいた(株)ANET、JFE コムサービスの皆様に深く御礼申し上げます。